

監修のことば

安藤先生とは彼が亀田総合病院呼吸器内科で後期研修医をしているときに出会った。呼吸器内科と腫瘍内科は胸部がんボードやコンサルテーションを通じて交流が深く日頃から接触する機会が多い。安藤先生は真面目な努力家で、腫瘍内科にもローテーションし活躍してくれた。

本書に書かれている内容は、私が米国で臨床研修と診療をしている最中に実際に使用した会話内容とほぼ一致する。また初学者にわかりやすいように場面ごとにやさしく書かれ、使用頻度の高い言い回しは繰り返し出てくるので通読すると次第に表現に慣れると思う。また表現内容は文法が教科書的なものではなく、現場で話されている実践英語（口語）である。そのため患者さんと会話する直前に読んで内容を大まかに暗記するだけで、いままでとは違った会話ができると思う。

私も実際英語に慣れるまでは、一緒に診療してくれたアメリカ人医師が使用していた表現を自らノートに手書きして暗記し、その後覚えた表現を使用して徐々に会話を上達させたが、本書はその手書きのノートがそのまま本になった感じである。医療の中での会話内容は膨大であるが、本書はその入り口としてとてもわかりやすくなっており、医療英語初学者にはお勧めの一冊である。留学や日本で英語で診療する医師には本書を活用していただきたい。

2012年8月

亀田総合病院腫瘍内科部長
大山 優